

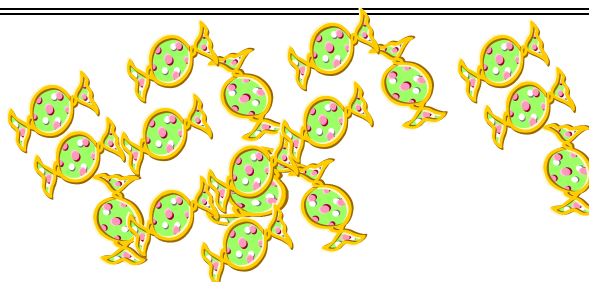
## 9 あまりのあるわり算

### (1) あまりのあるわり算

#### 基本のたしかめ

同じ数ずつに分け、いくつ分かをもとめましょう。

- 1 あめが17こあります。  
1人に3こずつ分けると、  
何人に分けられるでしょう。



①何人に分けられるか考えてみましょう。

1人分は3こなので、 ÷  で人数をもとめることができます。

②3の段の九九を使って、考えてみましょう。

4人にくざると  $3 \times$   = 12      5こあまり、まだくばれる。

5人にくざると  $3 \times$   = 15      2こあまる

6人にくざると  $3 \times$   = 18      1こたりない。

17こをこえてはだめなので、

1人に3こずつ分けると、 人に分けられて  こあまる。

それを、わり算を使って  $17 \div 3 = 5$  あまり  $2$  とかきます。

あまりがあるときは「わりきれない」といい、

あまりがないときは「わりきれる」といいます。

あまりは、いつもわる数より小さくなるようにします。

1人分の大きさをもとめ、あまりも考えましょう。

- ② クッキーが43こあります。8人で同じ数ずつ分けると1人分は何こになるでしょう。また、何こあまるでしょう。

- ① 1人分をもとめる式をかきましょう。

$$\boxed{\phantom{00}} \div \boxed{\phantom{00}}$$

- ② 答えの見つけ方を考えましょう。

1人が4こ →  $\boxed{4} \times 8 = 32$  だから  $\boxed{\phantom{00}}$  こあまる

1人が5こ →  $\boxed{\phantom{00}} \times 8 = 40$  だから  $\boxed{\phantom{00}}$  こあまる

1人が6こ →  $\boxed{\phantom{00}} \times 8 = 48$   $\boxed{\phantom{00}}$  こたりない

1人に  $\boxed{\phantom{00}}$  こくばれて、  $\boxed{\phantom{00}}$  こあまります。

だから、  
 $43 \div 8 = \boxed{\phantom{00}}$  あまり  $\boxed{\phantom{00}}$  となります。

答え  $\boxed{\phantom{00}}$  こ あまり  $\boxed{\phantom{00}}$  こ

- $43 \div 8$  の答えは、8のだんの九九で見つかります。

○ たしかめもしてみよう！

1人…○○○○○

2人…○○○○○

3人…○○○○○

4人…○○○○○

5人…○○○○○

6人…○○○○○

7人…○○○○○

8人…○○○○○

○○○

5こ × 8人分 = 40こ

あまりが  $\boxed{\phantom{00}}$  こあるので

$40 + 3 = 43$

ステップ1

3 あまりのあるわり算の計算をしよう。

- |                 |                      |     |                      |                 |                      |     |                      |
|-----------------|----------------------|-----|----------------------|-----------------|----------------------|-----|----------------------|
| ① $5 \div 2 =$  | <input type="text"/> | あまり | <input type="text"/> | ② $7 \div 3 =$  | <input type="text"/> | あまり | <input type="text"/> |
| ③ $12 \div 5 =$ | <input type="text"/> | あまり | <input type="text"/> | ④ $14 \div 5 =$ | <input type="text"/> | あまり | <input type="text"/> |
| ⑤ $11 \div 3 =$ | <input type="text"/> | あまり | <input type="text"/> | ⑥ $18 \div 7 =$ | <input type="text"/> | あまり | <input type="text"/> |
| ⑦ $15 \div 6 =$ | <input type="text"/> | あまり | <input type="text"/> | ⑧ $27 \div 8 =$ | <input type="text"/> | あまり | <input type="text"/> |
| ⑨ $47 \div 9 =$ | <input type="text"/> | あまり | <input type="text"/> | ⑩ $25 \div 6 =$ | <input type="text"/> | あまり | <input type="text"/> |

4 答えをたしかめる式をかきましょう。

- |                         |   |                      |   |                      |   |                      |                        |
|-------------------------|---|----------------------|---|----------------------|---|----------------------|------------------------|
| ① $7 \div 3 = 2$ あまり 1  | → | <input type="text"/> | × | <input type="text"/> | + | <input type="text"/> | = 7                    |
| ② $17 \div 7 = 2$ あまり 3 | → | <input type="text"/> | × | <input type="text"/> | + | <input type="text"/> | = <input type="text"/> |
| ③ $25 \div 4 = 6$ あまり 1 | → | <input type="text"/> | × | <input type="text"/> | + | <input type="text"/> | = <input type="text"/> |

ステップ2

5 □にあてまはる数をかきましょう。

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| ① $\square \div 6 = 3$ あまり 4 | <input type="text"/> |
| ② $\square \div 7 = 5$ あまり 3 | <input type="text"/> |
| ③ $\square \div 8 = 7$ あまり 6 | <input type="text"/> |

(2) あまりのあるわり算の問題

場面にあわせて考えよう。

基本の確かめ

6 ボートに3人ずつ乗ります。さとみさんのクラスは26人います。みんながボートに乗るためには何そうあればいいでしょう。

①ボートの数をもとめる式をかきましょう。

$$\boxed{\phantom{00}} \div \boxed{\phantom{00}} \text{ です。}$$

②答えを求めましょう。

$$\boxed{\phantom{00}} \div \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}} \text{、あまり } \boxed{\phantom{00}}$$

③ボートは  $\boxed{\phantom{00}}$  そうで **24** 人が乗れます。あと  $\boxed{\phantom{00}}$  人が乗るためには

もう1そういるので、  $8 + \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$

答え  $\boxed{\phantom{00}}$  そう

乗れない友だちがいてはいけないので、ボートを1そうふやすことになるね！

ステップ1

7 学級の写真をとるのに長いすにすわります。1つのいすには5人ずつすわります。さとるくんのクラスは37人クラスです。長いすは何きやくいるでしょう。

式  $\boxed{\phantom{00}} \div \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}} \text{、あまり } \boxed{\phantom{00}}$

みんながすわれるようにするには、  $\boxed{\phantom{00}} + \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$

答え  $\boxed{\phantom{00}}$  きやく必要

ステップ2

8 花のたねが27こあります。1つのうえきばちに4こずつうえます。全部うえるには何はちいるでしょう？

式

答え

はち

9 あきらさんのクラスは32人です。今、1チーム5人のバスケットのチームを作ります。

①何チームできて、何人あまるでしょう。

式

チーム

人あまる

②もう1チームつくるには、あと何人いればいでしょう。

式

人

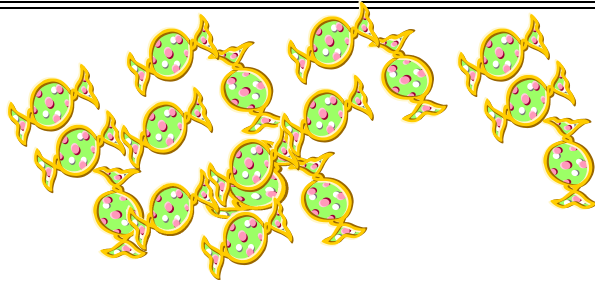
# 答えのページ

## (1) 余りのあるわり算

### 基本のたしかめ

同じ数ずつに分け、いくつ分かをもとめましょう。

- ① あめが17こあります。  
1人に3こずつ分けると、  
何人に分けられるでしょう。



①何人に分けられるか考えてみましょう。

1人分は3こなので、 $17 \div 3$  で人数をもとめることができます。

②3の段の九九を使って、考えてみましょう。

4人にくざると  $3 \times 4 = 12$  5こあまり、まだくばれる。

5人にくざると  $3 \times 5 = 15$  2こあまる

6人にくざると  $3 \times 6 = 18$  1こたりない。

17こをこえてはだめなので、

1人に3こずつ分けると、5人に分けられて2こあまる。

それを、わり算を使って  $17 \div 3 = 5$  あまり 2 とかきます。

あまりがあるときは「わりきれない」といい、

あまりがないときは「わりきれる」といいます。

あまりは、いつもわる数より小さくなるようにします。

1人分の大きさをもとめ、あまりも考えましょう。

② クッキーが43こあります。8人で同じ数ずつ分けると1人分は何こになるでしょう。また、何こあまるでしょう。

① 1人分をもとめる式をかきましょう。

$$\boxed{43} \div \boxed{8}$$

② 答えの見つけ方を考えましょう。

1人が4こ →  $\boxed{4} \times 8 = 32$  だから  $\boxed{11}$  こあまる

1人が5こ →  $\boxed{5} \times 8 = 40$  だから  $\boxed{3}$  こあまる

1人が6こ →  $\boxed{6} \times 8 = 48$   $\boxed{5}$  こたりない

1人に  $\boxed{5}$  こくばれて、  $\boxed{3}$  こあまります。

だから、  
 $43 \div 8 = \boxed{5}$  あまり  $\boxed{3}$  となります。

答え  $\boxed{5}$  こ あまり  $\boxed{3}$  こ

○  $43 \div 8$  の答えは、8のだんの九九で見つかります。

○ たしかめもしてみよう！

- 1人…○○○○○
- 2人…○○○○○
- 3人…○○○○○
- 4人…○○○○○
- 5人…○○○○○
- 6人…○○○○○
- 7人…○○○○○
- 8人…○○○○○
- 

5こ × 8人分 = 40こ

あまりが  $\boxed{3}$  こあるので

$40 + 3 = 43$

ステップ1

③ あまりのあるわり算の計算をしよう。

① $5 \div 2 =$	<input type="text" value="2"/>	あまり	<input type="text" value="1"/>	② $7 \div 3 =$	<input type="text" value="2"/>	あまり	<input type="text" value="1"/>
③ $12 \div 5 =$	<input type="text" value="2"/>	あまり	<input type="text" value="2"/>	④ $14 \div 5 =$	<input type="text" value="2"/>	あまり	<input type="text" value="4"/>
⑤ $11 \div 3 =$	<input type="text" value="3"/>	あまり	<input type="text" value="2"/>	⑥ $18 \div 7 =$	<input type="text" value="2"/>	あまり	<input type="text" value="4"/>
⑦ $15 \div 6 =$	<input type="text" value="2"/>	あまり	<input type="text" value="3"/>	⑧ $27 \div 8 =$	<input type="text" value="3"/>	あまり	<input type="text" value="3"/>
⑨ $47 \div 9 =$	<input type="text" value="5"/>	あまり	<input type="text" value="2"/>	⑩ $25 \div 6 =$	<input type="text" value="4"/>	あまり	<input type="text" value="1"/>

④ 答えをたしかめる式をかきましょう。

① $7 \div 3 = 2$ あまり 1	→	<input type="text" value="3"/>	×	<input type="text" value="2"/>	+	<input type="text" value="1"/>	= 7
② $17 \div 7 = 2$ あまり 3	→	<input type="text" value="7"/>	×	<input type="text" value="2"/>	+	<input type="text" value="3"/>	= <input type="text" value="17"/>
③ $25 \div 4 = 6$ あまり 1	→	<input type="text" value="4"/>	×	<input type="text" value="6"/>	+	<input type="text" value="1"/>	= <input type="text" value="25"/>

ステップ2

⑤ □にあてまはる数をかきましょう。

① $\square \div 6 = 3$ あまり 4	<input type="text" value="22"/>
② $\square \div 7 = 5$ あまり 3	<input type="text" value="35"/>
③ $\square \div 8 = 7$ あまり 6	<input type="text" value="62"/>



(2) あまりのあるわり算の問題

場面にあわせて考えよう。

基本の確かめ

6 ボートに3人ずつ乗ります。さとみさんのクラスは26人います。みんながボートに乗るためには何そうあればいいでしょう。

①ボートの数をもとめる式をかきましょう。

$$\boxed{26} \div \boxed{3} \text{ です。}$$

②答えを求めましょう。

$$\boxed{26} \div \boxed{3} = \boxed{8} \text{、あまり } \boxed{2}$$

③ボートは  $\boxed{8}$  そうで  $24$  人が乗れます。あと  $\boxed{2}$  人が乗るためには

もう1そういるので、

$$8 + \boxed{1} = \boxed{9}$$

答え  $\boxed{9}$  そう

乗れない友だちがいてはいけないので、ボートを1そうふやすことになるね！

ステップ1

7 学級の写真を撮るのに長いすにすわります。1つのいすには5人ずつすわります。さとるくんのクラスは37人クラスです。長いすは何きやくいるでしょう。

式  $\boxed{37} \div \boxed{5} = \boxed{7}$ 、あまり  $\boxed{2}$

みんながすわれるようにするには、

$$\boxed{7} + \boxed{1} = \boxed{8}$$

答え  $\boxed{8}$  きやく必要

ステップ2

- 8 花のたねが27こあります。1つのうえきばちに4こずつうえます。全部うえるには何はちいるでしょう？

式

$$27 \div 4 = 6 \quad \text{あまり} \quad 3$$

$$6 + 1 = 7$$

答え

7

はち

- 9 あきさんのクラスは32人です。今、1チーム5人のバスケットのチームを作ります。

①何チームできて、何人あまるでしょう。

式

$$32 \div 5 = 6 \quad \text{あまり} \quad 2$$

6 チーム 2 人あまる

②もう1チームつくるには、あと何人いればいいでしょう。

式

$$5 - 2 = 3$$

3 人